



第78回 卒業証書授与式 すばらしい卒業式になりました！

3月7日（金）、肥前市民センター産業・教育課長の川口徹様、PTA会長の岩本謙太郎様をはじめ、多くのご来賓の皆様、そして保護者の皆様に見守られながら、第78回卒業証書授与式を挙行することができました。三十三名の卒業生が、とても立派に、巣立っていきました。

私は、卒業生とは、1年間しか関わることができませんでしたが、「おめでとう」と声をかけながら、一人一人に卒業証書を手渡した時の「凜」とした顔つきに、成長とたくましさを感じました。

「卒業生の言葉」では、前生徒会長の久保まりなさんが、「三年間、笑いあひながら、沢山のことを共に乗り越えてきた仲間たち。私はこの三十三名で良かったと心から思います。」と、沢山の思い出、そして、家族や友達、先生方への感謝の気持ちを、心を込めて述べていました。また、在校生の「送別の言葉」では、新生徒会長の古河快都さんが、「先輩方の可能性は無限大です。先輩方の一步が光り輝き、明るい未来を開かれますよう心より願っています。」と、先輩方へエールを送っていました。

卒業生の保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。これまで、お子さまを支え、励まし、温かく見守ってこられたことに、心より敬意を表するとともに、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。卒業生の更なるご成長とご活躍を心から願っております。



1・2年生「先輩に学ぶ会」で進路指導

3月4日（火）に音楽室において、進路指導の一環で、「先輩に学ぶ会」を行いました。唐津市内の県立高校に通っている本校の卒業生を6人お招きして、「どのようにして進路を決定したか・高校合格を目指してがんばったこと・高校生活（授業・実習・部活動・行事・進路）・中学校との違い・中学校で身につけておきたいこと」などについて、話をしてもらいました。

【目的】

- (1) 高校についての具体的な情報や受験生としての体験を語ってもらうことで、自分に合った進路選択をするための一助とする。
- (2) 卒業後の進路を見据えて今後の学校生活を送ろうとする、自主的・実践的な態度を養う。
- (3) 授業の中では知ることができない情報を得ることにより、進路選択のための情報収集への意欲を高める。

子どもたちは、身近な先輩方に学科や単位について等、様々な質問をしていました。子どもたちの感想を紹介します。

- ・勉強は勉強でも、勉強の習慣を付けておくことが大事で、少しずつでもコツコツやっていくことが大切だと分かりました。
- ・高校生活では、人数も増えて色々な人と交流することが楽しいと聞いて、とても楽しみです。
- ・高校に受かるためには、勉強や授業態度が大切だと分かった。
- ・中学生の内に、友だちと沢山遊んでおくことや、思い出をつくっておいた方がいいと言われて、確かにと思いました。
- ・中学校のうちに、習慣にしておいたほうがいい事として、「色々な活動にも積極性を身につける」「自分で考えて行動する」「言葉遣いや、自分の身だしなみをきちんとする」など、高校に行くためには沢山のことを習慣にするんだなと感心しました。
- ・先輩の話を聞いて、今の自分の実力だと、必死で勉強しないと、高校に合格できないんだなと実感しました。
- ・南高校の調理実習について、作ったものを販売したり、自分たちで協力しながら調理したりしていくことが、とても印象に残っています。
- ・学習面や生活面についての話を沢山聞いて、少し進路を考えるようになりました。身近な先輩方だったので、とても説得力がありました。
- ・高校の学園祭がとても楽しそうでした。自分の希望する高校に受かるように、今のうちに頑張っておきたいと思います。

